

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	4 単位
対象学年	第 2 学年				
授業担当者					
使用教科書	新数学Ⅱ 東京書籍	副教材	ニューファースト新数学Ⅱ 東京書籍		
スクーリング	必要出席時間数	4 単位×1 =4 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。		
レポート	必要提出枚数	4 単位×3 =12 枚			
期末試験	合格得点目標	平均点の半分 以上	考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件		

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数学は何千年もの年月を経て発展し、現在でも活発に研究され進化している。普段の生活の場面で、その数学の知識や技能を身に付ける能力を養う。	方程式・式と証明、図形と方程式 三角関数、指数・対数関数を学び、 世界共通の表し方と記法を身に付け、 これらを用いて論証を進める能力を養う。	教科書の例や例題の内容を理解し、 解法の書き方を覚え、それに沿って練習問題で自分の解答を作る能力を養い、 学んだ事を人に説明する力を付ける。

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (<input checked="" type="checkbox"/> 切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	方程式(1)乗法公式と2項定理	○	○□			○	○		4
	(2)方程式の解の種類	○	○□			○	○	○	4
5	複素数(1)解と係数の関係	○	○□		No. 1→5/9	○	○	○	4
	(2)剰余定理と因数定理	○	○□		No. 2→5/30	○	○	○	5
6	(3)3次方程式の解法	○□	○□		No. 3→6/13	○	○	○	4
	(4)恒等式の証明	○□	○□		No. 4→6/20	○	○	○	3
	座標(1)内分点と外分点	○	○□		No. 5→6/27	○	○		3
7	方程式(1)直線の方程式	○□	○□		No. 6→7/11	○	○	○	3
	(2)円の方程式	○□	○□			○	○	○	3
8	前期期末考査対策	○				○			2
9	前期期末考査			○□		○	○	○	1
	領域(1)方程式と軌跡	○	○□			○	○	○	3
10	(2)不等式の表す領域	○□	○□		No. 7→10/3	○	○		3
	三角関数(1)三角関数とグラフ	○	○□		No. 8→10/17	○	○	○	2
11	(2)補角公式と余角公式	○	○□		No. 9→10/31	○	○	○	3
	(3)三角関数の加法定理	○□	○□		No. 10→11/14	○	○	○	3
12	指数対数(1)指数関数とグラフ	○□	○□		No. 11→11/28	○	○	○	4
	(2)対数関数とグラフ	○□	○□		No. 12→12/12	○	○	○	4
1	期末試験対策	○□				○			2
	学年末試験(1,2年)			○□		○	○	○	1
2	1年間の総復習	○				○	○	○	4
3	1年間の総復習	○				○	○	○	4

